

やはたのおつか

八幡大塚古墳と

こじまのみやけ

児島屯倉

2023
12 / 8 (金) ~ 1 / 14 (日)
2024

会場 岡山県立博物館 2階展示室

開館時間 午前9時30分~午後5時

入館料 大人250円、65歳以上120円、
高校生以下無料 ※1月1日(月・祝)は無料開館

休館日

月曜日(ただし1月1日・8日は開館)、
年末(12月28日~12月31日)、1月9日(火)

学芸員による展示解説「申込不要」

12月16日(土)・23日(土)、1月13日(土)
※各日午後2時~3時



この古墳は大形の円墳とされてきましたが、
この時期の吉備で屈指の規模、全長64mの
前方後円墳であったことが明らかになりました。

欽明天皇17年(556)、中央集権化を進める大和政権は、児島に直轄地、屯倉^{みやけ}を設置しました。屯倉の
推定位置に近接して築かれた八幡大塚古墳は、副葬品や墳丘の規模などから屯倉とのかかわりが考え
られてきました。

展示では八幡大塚古墳の副葬品や、屯倉が主導したとみられる大規模な塩生産の遺跡を紹介しま
す。また、この古墳が吉備の後期古墳のなかでどのような位置を占め、以降の古墳にどういった影響
を与えたかについても考えてみます。



金製耳飾り 文化庁蔵

同時開催 平常展「岡山の歴史と文化」 第1展示室「古代吉備の世界—岡山県内出土の考古資料—」 第2展示室「幕末維新
までの岡山の歴史」、「昔の暮らしと道具」、「熊野染夜着ほか」 第3展示室「備前焼」、「赤羽刀」 第4展示室「岡山の仏像」

